

令和6年度 江戸川区立宇喜田小学校 総合的な学習の時間 全体計画

校長名 青山 美和子
 名称: 総合

学校の教育目標	学ぶ子 やさしい子 元気な子
---------	----------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
- 2 自分で課題を設定し、情報を集め、まとめる。
- 3 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、課題解決に向けて取り組む。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・考えるための手段を知る。 ・課題を設定し、考えるための手段を活用し、解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えるための技法を知り、手段を自ら選択し、解決する。 ・探究的な学習のよさを理解する。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向け必要な情報を考え、収集する。 ・考えたことを根拠を明らかにしてまとめ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を比較したり、関連付けたりして課題解決に向けて考える。 ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習に主体的、協働的に取り組む。 ・異なる意見や考えを受け入れながら課題解決に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習に主体的、協働的に取り組む。 ・異なる意見や考えを受け入れながら課題解決に取り組もうとする。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化や伝統、町の様子の変化 ・道具の変遷 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化や施設のよさ、特産品について考える。 ・道具による生活の変化を比較し、道具のよさについて考える。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の都道府県の特徴 ・今の自分と自己の将来 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の特徴や魅力について調べ、タブレットや本を活用してまとめる。 ・今の自分を見つめ、様々な職業を知り、将来の自分について考える。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフについて ・UKTのSDGS ・ウインタースクールに向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフの活動やSDGSについて知り、自分たちにできる取組を考える。 ・ウインタースクールでの活動や雪国の暮らしについて調べ、体験し、まとめる。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・世界ともだちプロジェクト ・卒業プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国のよさや日本との違いについて考える。 ・卒業に向けて、中学校について調べたり、学校への感謝を伝える活動を考えたりする。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・3・4年生は「地域」、5年生は「環境」、6年生は「国際理解」とテーマを決め、単元を設定する。 ・単元は各学年で開発し、計画する。 ・「江戸川大好き」な子を育てるため、3・4年生では「東京都の市区町村や都道府県」、5年生では「環境問題」、6年生では「世界の国々」について調べる中で、江戸川区のよさに気付かせたり、再認識させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続、発展させる支援 ・個に応じた指導の工夫 ・諸感覚を駆使する体験活動の重視 ・協働的な学習活動の充実 ・インターネットや本など、課題解決のための手立ての充実 ・対話を中心とした個別支援の徹底 ・教科と関連させた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年組織による校内、校外の連絡調整と支援体制の確立 ・地域教育力を生かす人材バンクの効果的運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画に対する評価の実施 ・授業分析による学習指導に対する評価の重視